

## XPPen 補助ドライバのマニュアル(Ver.2)

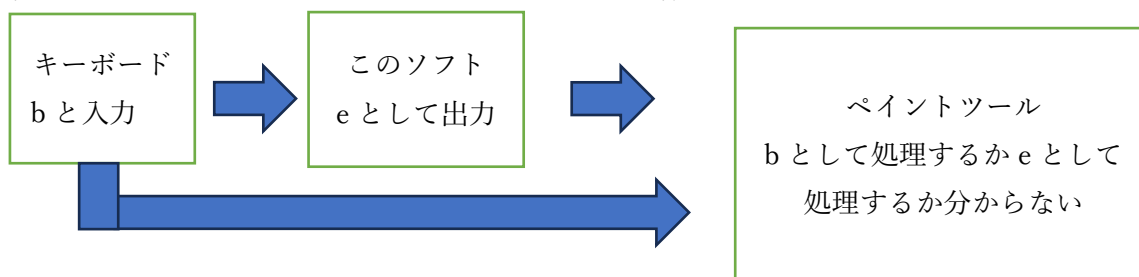
### 基本的な使い方

まず、本来のドライバと操作が衝突するの防ぐために XPPen のドライバのエクスプレスキー、ペンのボタンに関しての操作を無効にします。

次にペイントツールのショートカットを見て、config.txt を設定します。

このソフトはキーボードの処理を上書きするのではなく追加の情報を送信しているので、キーボードでこのソフトを操作する場合はペイントツールの方のショートカットを変更する必要がある場合があります。

例：ペイントツールのショートカットで b:ペン、e:消しゴムとなっていた場合



こういう風になるのでペンの設定を別の操作にする必要があります。

XPPen 補助ドライバ.exe を実行すれば使えます。

右下についているボタンを押すと作動中か停止中かを入れ替えられるので機能が出ると困るときは停止中にします。

XPPen のペンタブレットと同時に使うことを想定していますが、ペンタブレットがなくてもキーボードから受け取る入力に関しては処理できるので使うことができます。

操作するときはペンを接地させる必要はなく、カーソルがペンに反応して動く高さでなぞれば十分です。

### config.txt の編集法について

config.txt は XML 形式になっています。

XML には要素と属性という二つのものがあり、それぞれ決まった書き方があります。

要素は<要素名>、</要素名>と書いて間に要素の内容を書けます。

属性は<要素名>の>の部分に書くことができ、半角スペースで間を開けた後、

属性名="値"と書きます。また、同じ<>の中に複数書けます。

例として<要素名 属性名 1="値 1" 属性名 2="値 2">となります。

ファイルの全体は XADconfig 要素なので先頭と最後は、<XADconfig>、</XADconfig>

となっている必要があります。

#### ・一覧

<XADconfig>の次は一覧の記述になります。ここでは操作に名前を付けて書く必要があります。上の操作のほうが優先度が高くなるので、上に A キーだけで作動する操作を書き下に Shift+A で作動する操作を書くと下の操作は使えなくなります。一覧の中では各操作の名前は<名前>と</名前>に挟まれている必要があります。

#### <一覧>

```
<名前>ペン消しゴム</名前>
<名前>取り消す</名前>
<名前>移動長押し</名前>
<名前>方向二つ目</名前>
<名前>拡縮回転</名前>
```

#### </一覧>

」

#### ・操作の情報

次に来るのが各操作の情報です。

一覧で指定した名前を<>で囲んだ物を書いた後、入力と種別を書いていきます。

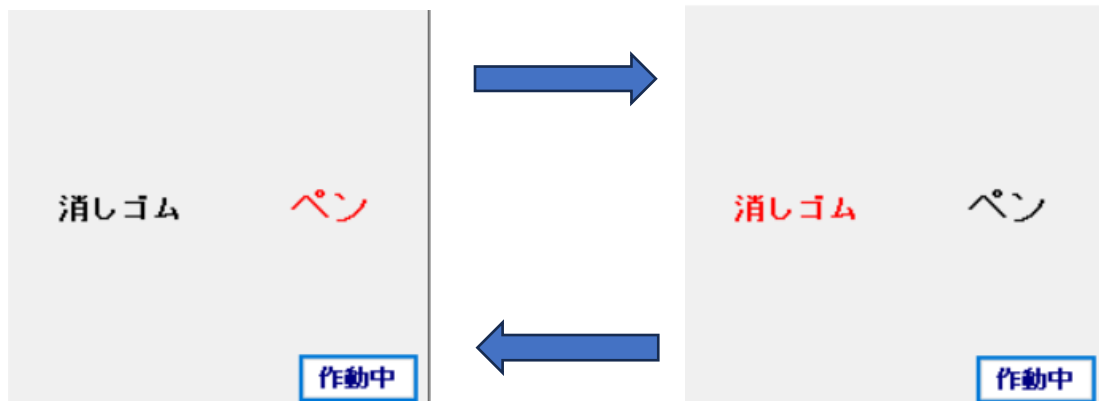
入力は操作が発動する入力で下の表で使えるキーボード入力やペントップ入力の一覧があります。複数書くことでそれらすべてが押されたときだけ操作できるようになります。複数の場合でも入力ごとに<入力>、</入力>の間に書く必要があります。

種別は操作の種類を示すものです。「ループ」、「単発」、「長押し」、「方向」、「2 軸」の 5 種類が使えます。

ループは一度操作するごとに登録されてる出力のうち次のものが一つずつ出力されて行きます。

#### <ペン消しゴム>

```
<入力>k1</入力>
<種別>ループ</種別>
<キー1 ラベル="ペン" トグル="T"><出力>b</出力></キー1>
<キー2 ラベル="消しゴム" トグル="T"><出力>e</出力></キー2>
</ペン消しゴム>
```



k1(ペンタブの第 1 ボタン)を押すたびに出力がペンの b と消しゴムの e で入れ替わる。

単発は操作したときに 1 度だけ出力されるもので 2 回押せば 2 回同じ出力がされます。

```
<取り消す>
  <入力>k7</入力>
  <種別>単発</種別>
  <キー1 ラベル="取り消す"><出力>ctrl</出力><出力>z</出力></キー1>
</取り消す>
```



k7(ペンタブの第 7 ボタン)を押すたびに  
取り消しの ctrl+z が出力される。

長押しはトグルに設定されている出力(後述)を操作している間だけ上書きして操作を止めるともとのトグルに設定されている出力に戻るものです。

```
<移動長押し>
  <入力>k3</入力>
  <種別>長押し</種別>
  <キー1 ラベル="移動"><出力>h</出力></キー1>
</移動長押し>
```



左からボタンを押す前、ボタンを押してる間、ボタンを離した後

「ペン」はトグルが指定されているので押している間だけ上書きされ離した後は戻っている。

方向は操作を始めたときのペンの位置と終えたところのペンの位置で出力を選べるものです。誤操作時に出力されるのを防ぐために移動距離が短い時は出力されないようになっています。

<方向二つ目>

<入力>k6</入力>

<種別>方向</種別>

<キー1 ラベル="保存"><出力>ctrl</出力><出力>s</出力></キー1>

<キー2 ラベル="変形"><出力>ctrl</出力><出力>t</出力></キー2>

<キー3 ラベル="色入替"><出力>x</出力></キー3>

<キー4 ラベル="反転"><出力>down</出力></キー4>

</方向二つ目>



この場合は 4 つ出力が設定されてるので 4 つに割ってある。

操作中に右にペンを動かしたことで保存が選択されているのでこの状態でペンタブのボタンから手を離すと保存の ctrl+s が出力される。

2 軸は右左上下 4 つの出力が設定でき、ペンの各方向への移動距離に応じた回数だけ出力されます。この場合は<種別>を<種別 横感度="1000" 縦感度="1000">のように書く必要があります。この感度は動かした幅に対して出力される量に影響し、小さいほど多くの出力がされます。

<拡張回転>

<入力>k4</入力>

<種別 横感度="2000" 縦感度="2000">2軸</種別>

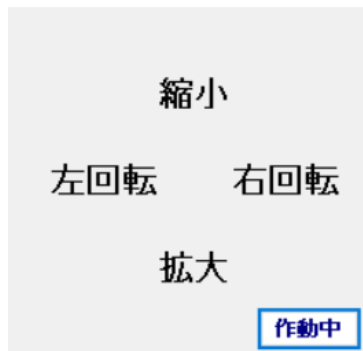
<キー1 ラベル="右回転"><出力>right</出力></キー1>

<キー2 ラベル="左回転"><出力>left</出力></キー2>

<キー3 ラベル="縮小"><出力>ctrl</出力><出力>-</出力></キー3>

<キー4 ラベル="拡大"><出力>ctrl</出力><出力>+</出力></キー4>

</拡張回転>



右にペンを動かすと右回転が出力され、左に動かせば左回転が出力される。



縦か横に動かして一度でも出力されるとそうではない方向のラベルが灰色で表示されて出力されなくなるのでこの状況で拡大をしたい場合は一度ボタンを離してもう一度押した後に下に動かせばよい。

次に来るのがキーです。これらは1からの整数を空きがないように設定できます。

そして<キー+半角数字>で始めたら、その中にラベルを書きます。このラベルは画面に表示される出力の名前です。ラベルは半角スペースの後に「ラベル=」と書き、そのあと半角の”の間に表示したい言葉を書きます。あまり長いと見づらくなるので長くても4文字程度が良いと思います。

また、トグルについて書くことがあり、ここでトグルという扱いになった出力は長押しで上書きされた後に戻すことができます。ペンや消しゴムのような出力はトグルにし、取り消しや保存はトグルにしない方が良いでしょう。トグルに指定するには>の後ろに トグル=”T”と書けばよいです。

ここまですで<キー1 ラベル=”ブラシ”>もしくは<キー1 ラベル=”ブラシ” トグル=”T”>のようになるはずです。

そのあとには実際の出力を書いていきます。ここで使える操作も下に表にしてあります。入力と同じ複数書くことができ、すべて<出力>、</出力>の間に書く必要があります。最後は</キー+半角数字>で終わります。

これを「一覧」で指定した名前分すべて書けば操作の情報も書き終わります。

全体の最後は</XADconfig>で終わりです。

- ・ 対応している入出力について  
対応している入力以下の通りです。

- ・全アルファベット
- ・すべての数字
- ・すべてのテンキー(入力に書くときはn1のように数字の前にnを付ける必要があります。)
- ・すべてのペンタブのボタン(k1のように数字の前にkを付ける必要があります。)
- ・すべてのペンのボタン(p1のように数字の前にpを付ける必要があります。)
- ・シフトキー(入力には shift と書きます。)
- ・コントロールキー(入力には ctrl と書きます。)
- ・タブキー(入力には tab と書きます。)
- ・矢印上キー(入力には up と書きます。)
- ・矢印下キー(入力には down と書きます。)
- ・矢印右キー(入力には right と書きます。)
- ・矢印左キー(入力には left と書きます。)
- ・エンター(入力には enter と書きます。)
- ・デリート(入力には delete と書きます。)

対応している出力は以下の通りです。

基本的に文字としてパソコンに入力できる操作は全てその文字を書けば可能です。a や 1 や [ などです。

次に特殊な書き方をする必要のあるものがあります。

- ・シフト(出力には shift と書きます。)
- ・コントロール(出力には ctrl と書きます。)
- ・タブ(出力には tab と書きます。)
- ・矢印上(出力には up と書きます。)
- ・矢印下(出力には down と書きます。)
- ・矢印右(出力には right と書きます。)
- ・矢印左(出力には left と書きます。)
- ・エンター(出力には enter と書きます。)
- ・デリート(出力には delete と書きます。)

## 全体の例

```
<XADconfig>
  <一覧>
    <名前>ペン消しゴム</名前>
    <名前>取り消す</名前>
    <名前>移動長押し</名前>
    <名前>方向二つ目</名前>
    <名前>拡縮回転</名前>
  </一覧>
  <ペン消しゴム>
    <入力>k1</入力>
    <種別>ループ</種別>
    <キー1 ラベル="ペン" トグル="T"><出力>b</出力></キー1>
    <キー2 ラベル="消しゴム" トグル="T"><出力>e</出力></キー2>
  </ペン消しゴム>
  <取り消す>
    <入力>k7</入力>
    <種別>単発</種別>
    <キー1 ラベル="取り消す"><出力>ctrl</出力><出力>z</出力></キー1>
  </取り消す>
  <移動長押し>
    <入力>k3</入力>
    <種別>長押し</種別>
    <キー1 ラベル="移動"><出力>h</出力></キー1>
  </移動長押し>
  <方向二つ目>
    <入力>k6</入力>
    <種別>方向</種別>
    <キー1 ラベル="保存"><出力>ctrl</出力><出力>s</出力></キー1>
    <キー2 ラベル="変形"><出力>ctrl</出力><出力>t</出力></キー2>
    <キー3 ラベル="色入替"><出力>x</出力></キー3>
    <キー4 ラベル="反転"><出力>down</出力></キー4>
  </方向二つ目>
  <拡縮回転>
    <入力>k4</入力>
    <種別 横感度="2000" 縦感度="2000">2軸</種別>
    <キー1 ラベル="右回転"><出力>right</出力></キー1>
    <キー2 ラベル="左回転"><出力>left</出力></キー2>
    <キー3 ラベル="縮小"><出力>ctrl</出力><出力>-</出力></キー3>
    <キー4 ラベル="拡大"><出力>ctrl</出力><出力>+</出力></キー4>
  </拡縮回転>
</XADconfig>
```